

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年10月11日

【評価実施概要】

事業所番号	1174300481
法人名	有限会社 まごころ
事業所名	グループホーム まごころ
所在地	367-0035 埼玉県本庄市西富田字西浦653-1 (電話) 050-8600-1795

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年10月11日

【情報提供票より】(平成19年10月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	14 人 常勤 11人, 非常勤 3人, 常勤換算 13.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	15,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
または1日当たり				

(4) 利用者の概要(10月11日現在)

利用者人数	15 名	男性	8 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低	63 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	本庄福島病院、上武病院、さかもとクリニック
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は関越自動車道のIC及び上越新幹線の駅から程近い新興住宅地の中に位置し、周囲は野菜畑で、季節感や地域住民の生活が見られる良好な環境にある。建物は木造平屋建てで南東向きのL字型になっており、吹抜けのリビングは梁の上に天窓があって明るく、利用者が落ち着ける構造になっている。事業者、管理者の認知症ケアに対する思いは熱く、利用者本位の生活を尊重し、人として当然のことをさりげなく自然におだやかに接する姿勢が感じられる。自由な散歩等の外出、趣味など一人ひとりに寄り添った柔軟な支援がなされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では地域に根ざす事業所とするため、地元への働きかけ及び運営理念の啓発などが改善課題とされていた。しかし、地元自治会への協力依頼、また、住民への働きかけに努力したが進捗しておらず、改善への検討段階である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義を管理者はよく理解しているが、自己評価の作成にあたっては全職員の参加は勤務のローテーションから達成できなかった。全員が揃うことは困難であるので、評価が可能な項目から逐次、自己評価を進め、気付くと改善につなげることを検討中である。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は行政担当者、民生委員等の関係者が多忙で、利用者家族と地区々長以外の参加が得られていない状況である。今後、関係者の参加を得るため事業所からの情報提供や働きかけの推進について検討を期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者の暮らしぶり、生活状況について分かりやすく記載した家族への月次報告書、また、来所時の声かけ、担当職員と家族の関わりなどを通して、意見や苦情、思いなどの把握に努め、改善に努力している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地元の自治会へ加入し、地域活動への参加を通じて地域との連携を深めようとしているが、地域からの呼びかけが少なく、あっても利用者が参加するには適当なものできなかったりと、現実には地域活動に参加できていない状況にある。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者のその人らしい生活習慣や役割、人間関係を大切に、住み慣れた地域で安心した暮らしを支えることを基本に据えた理念を職員参加でつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は平易、かつ、端的な表現で分かり易く、職員は週に1度の引き継ぎ時に読みあげ、理念を踏まえた実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入し、地域の一員として活動に取り組もうと努力しているが、地域の側からの呼びかけが少なく、参加できる適当な行事や活動が見当らず、活発な交流の実現には至っていない。		地域からの呼びかけを待っているのではなく、事業所側から無理なくできるイベント、子どもの興味を引く催し、ホーム便りの配付などを行い、関心を高めてもらう工夫が望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者及び管理者は評価の意義を理解し、職員に説明したが、勤務時間のローテーションの都合上通りの説明にとどまっている。		自己評価項目と外部評価項目について全職員で検討し、サービスの質の向上に資することを期待する。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地区々長、利用者家族等のメンバーで開催しているが、行政や地域包括支援センター等からの参加が得られておらず、地区々長の出席も初回だけで、その後は会議結果の報告だけとなっている。		運営推進会議の意義や役割を各機関によく説明し、積極的に呼びかけると同時に、参加者が出席し易い曜日、時間帯を伺い、議題についても率直な意見や提言を得られる内容のものを選択して参加を得る方策の工夫を望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者について行政と関わりがある事項にあつては市の担当者に相談しているが、その他の事柄については積極的な接触が少ない状況にある。		事業遂行上生じる課題の中には市の担当者との協議が必要な場合があり、事業所の実情や考えを知ってもらうことが肝要である。したがって、普段から市の担当者と接し、できれば来訪していただく働きかけを行われるよう期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族等への報告は一定の様式に利用者の近況、介護計画、連絡事項等を分かりやすく記載して毎月、また、預かり金は2ヶ月ごとに収支報告書にレシートを添付して行っている。このほか家族の訪問時にできるかぎり面談で報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には近況報告や訪問時に、意見や苦情等を気軽に言ってもらえるように努め、苦情等があった場合には早急に職員会議を開いて改善策を話し合い、実施に移している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動による利用者へのダメージを防止するため人事異動は避けるようにしている。また、職員の離職は最小限に抑えるようにしているが、それでも離職者が生じた場合は、新任者が利用者にも早く馴染む最善の努力を払っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には正職員、パート職員の区別なく順次参加してもらい、研修後はレポートを作成して全員に回覧しており、研修内容の共有化が図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内北部地区のグループホーム協議会に加入し、この協議会主催の研修会や会合を通じて情報交換や研究を行い、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に職員が自宅を数回訪問して、本人、家族と馴染みになり、事業所に来ていただいて他の利用者や事業所の雰囲気に馴れてから利用開始をするようにするなど、家族と相談を重ねながら進めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>買物、料理の下ごしらえ、野菜栽培の指導等、利用者が持っている知識、技能を生かした役割づくりを行い、作業等の後は感謝のこぼしを述べて、学びあい、支えあう関係を築くようにしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中で、利用者のことばや表情、行動から、本人が希望することや意向などを汲みとり、それに沿うように配慮をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>各棟ごとに利用者のアセスメント、カンファレンスなどを行い、さらに、個別に利用者の視点に立った介護計画を作成し、家族に説明して話し合い、意見があれば取り入れるようにして介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>作成した介護計画は利用者の状況を見ながら、通常6ヶ月ごとに見直しを行っている。変化が見られる利用者にとっては、その都度見直しを行い、本人、家族とも話し合っ、現状に即した介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況等に応じて、通院介助など事業所が有する機能を活かして支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望するかかりつけ医がいる利用者は、そのかかりつけ医に受診してもらっている。かかりつけ医がいない利用者は本人、家族の了解のうえで事業所の協力医をかかりつけ医とし、適切な診療が受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた指針を文書化し、家族等に同意を得るための書類も準備しているが、看護師等のスタッフがおらず、重度化した場合に医療行為ができかねる事情もあり、実際に看取りができる体制づくりはこれからである。		重度化した場合、あるいは終末期のケアについて、かかりつけ医、看護師等の関係者と具体的な話し合いを開催するようにし、本人、家族の意向を踏まえた対応がとれる体制づくりを進めて行かれることを期待する。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを損ねるような呼び方、また、話し方はしておらず、介護や介助もさりげなく行われ、個人に関する情報は、在職中はもちろん、退職後も秘匿するように採用時からよく指導している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出を好む利用者には、職員側の都合は差し置いて必ず付き添うようにし、手芸や洗たく等をしたい方には、それぞれのペースを把握して、本人の体調や気持ちを尊重しながら希望に沿うように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者には野菜を切るなど食事の下ごしらえ、下膳やお盆拭きなど、食事の準備や後片づけに参加してもらい、食事も職員とともに楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は午前、午後いつでも可能にしてあり、朝風呂を楽しむ人、1日2回入浴する人等、一人ひとりの希望に合わせて入浴を楽しめるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買物、散歩、モップ掛け、洗たく物干しと取り込みや、折りたたみ、あるいははりハビリ体操など、一人ひとりの生活歴や好みに応じた楽しみごとの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くにスーパーマーケットがあり、日常の買物に同行していただいたり、散歩などの外出支援をしている。また、理美容院へ出かけたり、季節によりホテル見物や、離れた社寺への参拝などドライブも楽しんでいる。		
あ					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所の玄関前は車の交通が多く危険であるため、やむを得ず日中も玄関の鍵を掛けている。利用者に外出したい様子が見られるときは職員がすぐに付き添い、散歩等に出掛けるようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災防止には煙感知器のほか消火器を備え付け、火災を想定した避難訓練も実施している。また、喫煙者には所定の場所で職員が付き添って喫煙してもらうようにし、ふだんは事業所側でたばこを預かるなど、火災の未然防止を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、栄養バランスにもよく注意している。また、利用者の好みや、食べやすさ、健康上配慮が必要な場合のカロリー量等についても、きめ細かく配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の生活空間は、梁の上の天窓から光が差し込む明るい構造になっており、食堂、台所も見渡すことができ、不快な音もない。また、室外には畑が拡がり、季節の移り変りがよく眺められ、居心地よく過ごせる工夫がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた筆筒やテーブル、仏壇、鏡台等、大切にされていた物、馴染みの物を本人や家族と相談しながら自宅から持ち込んでもらい、利用者が居心地よく過ごせるように配慮がなされている。		